

2022年4月1日

## 「ポストコロナ時代のウェルビーイングが高まるオフィスビル」をコンセプトにした 日比谷本社ビルの本格リノベーションの開始について ～新ビル名称は「第一生命日比谷ファースト」～

第一生命保険株式会社(代表取締役社長:稲垣精二、以下「当社」)は、本社ビルである DN タワー21(以下、「本物件」)につき、共同事業者である農林中央金庫持分を4月1日付で取得し、本物件の単独所有化を完了しました。また、今般この機を捉え、本物件の一部について外部テナントの入居するテナントオフィスビルへと改良するべく、既存建物を活かした大規模リノベーション工事を開始しましたので、お知らせします。

今回の大規模リノベーションは、1902年の創業当時からの精神である「最大たるより最良たれ」を礎にしつつ、日比谷第一生命館の建設(1938年竣工)、同建物を保存・再生させた DN タワー21 の建設(1993年竣工)に次ぐ、進化の第3のステージと位置づけ、2023年度中の完成を予定しています。

「ポストコロナ時代のウェルビーイングが高まるオフィスビル」をリノベーションのコンセプトに掲げ、歴史を継承しつつ、サステナブルにウェルビーイングを高める数々の取組みを検討しています。また、今般のリノベーションを機に、ビル名称についても「第一生命日比谷ファースト」に変更することを、あわせてお知らせします。

### 【リノベーションコンセプト】

## ポストコロナ時代のウェルビーイングが高まるオフィスビル

### 【コンセプト実現に向けたプランについて】

#### 1. 人々のウェルネスに配慮した建物・室内環境を整備し、「WELL v2 Gold レベル」の認証取得予定

人々の健康やウェルネスに建物が及ぼす影響に着目した「WELL (WELL Building Standard) (\*)」のゴールドレベルの認証取得(2023年度)に向けて計画を進めています。本認証の取得については、国内金融機関では初の試みとなる見込みです。

(\*)米国グリーンビルディング協会が運営する、建物環境が人の健康やウェルネスに及ぼす影響に注目した世界初の建物認証基準。  
主に室内環境や健康に繋がる施設・サービスを評価します。

WELL

#### 2. 感染症対策にも配慮し、「パンデミックレディ」の建築評価及び対策を国内で初めて適用

オフィスビルの感染症対策として、非接触 IC カードセキュリティシステム、QR コードを活用した受付システムの導入、抗菌・抗ウイルスボタンの採用等の先進技術の導入を予定しています。さらに、順天堂大学の堀賢教授と清水建設により、感染症拡大防止を目的に開発された建築評価及び対策(「パンデミックレディ」)を国内で初めて適用します。医科学(感染制御)の知見に基づき、建築から“感染症が広がりにくい空間”を考えた安全安心なオフィス環境を実現します。



### 3. 外部テナントも利用可能な人のつながりを促すウェルビーイングフロアを新設

本フロアでは、レストラン、カフェ、オフィスコンビニを擁し、集まる人のつながりを積極的に促すことを企図しています。また、DEAN&DELUCA や CIBONE など“食とデザイン”で多様な事業を展開する株式会社ウェルカム(代表:横川正紀)と協働して、健康を意識した食やサービスを通じて、利用者のウェルビーイングを高めていきます。

WELCOME GROUP

### 4. 丸の内仲通り側に商業店舗を誘致し、街に開いたオフィスビルへ

街の賑わい創出にも寄与する商業店舗の誘致を計画しています。加えて、歴史的な外観を継承しつつ、店舗へのアクセスしやすさにも配慮したリノベーションとします。



### 5. 環境に配慮したビルへ、全館の使用電力を再生可能エネルギーで調達

本物件で使用する電力は全て再生可能エネルギーで調達しています。また、本物件で使用する蒸気についても再生可能エネルギー由来のガス(カーボンニュートラルLNG)(\*)により創出されたものです。

RE 100

(\*)天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを CO2 クレジットで相殺(カーボン・オフセット)し、地球規模では CO2 が発生しないとみなされる LNG のこと。CO2 クレジットは、信頼性の高い検証機関により世界各地の環境保全プロジェクトにおける CO2 削減効果を認証されたものを使用。

### 6. 「第一生命」の新しい働き方も追求

当社は、テレワークを活用した「時間と場所を選ばない働き方」へと積極的にシフトするため、豊洲本社オフィスも合わせて、業務内容に応じた最適な場所を自ら選択しながら働く「フリーアドレス型ABW(Activity Based Working)」を導入します。「オープンな雰囲気での意見交換を行うスペース」や「多様な人材が自然と集い交流するスペース」等を設けることで、テレワークでは得られない人とのつながりを通じたイノベーション創出を後押しできるオフィスを目指します。



### 【新しいビル名称とロゴマーク採用の由来】



DAI-ICHI LIFE HIBIYA FIRST

## 「第一生命日比谷ファースト」

ビル名称:

第一生命の経営思想から「第一の」「最良の」「本物の」「唯一の」等の意味を持つ「ファースト」を採用。

ロゴマーク:

質実な建物の列柱外観と、創業以来不変の精神を持って、建物も会社も進化し続けることを表現。

## コンセプトスクリプト

「第一」は変わる。それでも、「第一」は変わらない。

「最大たるより、最良たれ」これは、第一生命の創業者の言葉です。

2022年、コロナ禍を経て、将来が見通せず、正解も、安定もない、今のような時代。

そんな時代に、本社ビルのリニューアルという事業に取り組むにあたって、私たちが礎としたのはこの精神でした。

規模として、最大を求めるのではない。お客さまにとっての最良、「第一」でなくてはならない。

その想いは、現本社ビルの原型である「第一生命館」の設計にもこめられていました。

堅牢で、「たとえ爆撃にあってもお客さまと私たちとの大事な絆の証である、保険証書を焼失させない」建築。質実剛健を極めたこの建物は、戦後、マッカーサー将軍のGHQの本部としても利用されました。

それは、「すべての人々の幸せを守り、高める」という私たちのグループビジョンの体現でもありました。

そして今回、次の本社ビルを計画するにあたっては、これまでにない、新しい思想も取り入れています。

緑、風などの自然のモチーフを多く取り入れる。

人が出会い、新しい発見や創造を体験する場所になる。

健康で、不安なく生きられる人生を表現する。

すなわち、そこに集う、一人ひとりのwell-beingを高めるための、全く新しいオフィスビル。

その名前は、「第一生命 日比谷ファースト」。

私たちは、新本社ビルに、誇りをもって、そう名付けます。

「お客さまにとっての第一に」「あなたのために」という想いを、切に込めて。

第一生命が次の、新しい領域に入っていく、

そのシンボルでありたいと願って。

### 【物件概要】

所在地	東京都千代田区有楽町 1-13-1
主要用途	オフィス、店舗
規模	地上 24 階、地下 5 階建、延床面積: 97,966 m <sup>2</sup>
構造	鉄骨構造、鉄骨鉄筋コンクリート構造